

【取組内容】「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

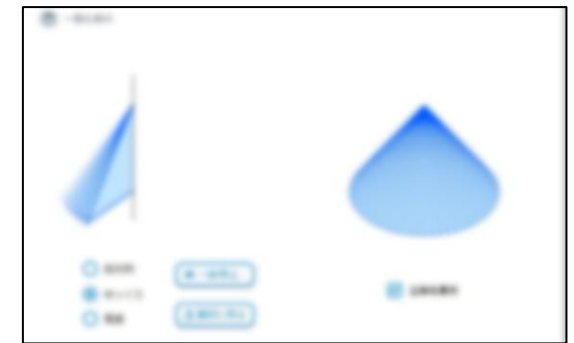
●導入時における興味・関心を高めるための活用

生徒の課題意識を高めるために、導入時にデジタル教科書の動画や音声教材を活用しました。中2社会科「二度の世界大戦と日本」の学習では、自分の学習課題を設定する際に、コンテンツの動画により、当時の様子を視聴することで、多くの生徒がもっと詳しく知りたいという思いをもちました。



●試行錯誤しながら学習に取り組む活動での活用

生徒は粘り強く試行錯誤する中で自分の考えを整理し、表現することができると仮説を立て、デジタル教科書のシミュレーション機能を活用しました。中1数学科「立体のいろいろな見方」の学習では、画面上で回転体を繰り返し操作し、多くの生徒が試行錯誤を繰り返しながら、回転の軸と回転体の関係について、自分が納得するまで追究することができました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立朝日中学校

【取組内容】 「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのデジタル教科書の活用

「個別最適」な学びと「協働的な学び」の一体的な充実

【「個別最適な学び」の視点から】

●考えを整理する場面での活用

自分の考えや事柄の根拠を整理する場面で活用しました。国語科では、全学年において説明文や物語文の学習の際に、「マイ黒板」と「付箋」の機能を活用し、それぞれの段落の内容をまとめる際に、本文中の文章を切り取ったり色分けをしたりして自分の思考を整理するなどして、生徒一人一人が自分のペースで自己調整しながら学習を進めることができました。



【「協働的な学び」の視点から】

●互いに学び合う活動での活用

・他の生徒と話し合ったり情報を共有したりしながら学びを深める場面においてデジタル教科書を活用しました。どの教科においても、デジタル教科書のコンテンツや資料を電子黒板に映し出し、グループや全体で問題を共有したり他者の考えを参照したりすることができるようになることから、他者の考えからヒントを得たり別の考えに挑戦したりするなどして自分の考えを広げることにつながりました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立朝日中学校

【取組内容】 情報活用能力育成の体系表と情報チェックシート&学習計画表

情報活用能力の育成

朝日町小中学校 情報チェックシート 情報活用能力の体系表		
基本的な操作活動 問題解決・探究における情報活用 プログラミング		
	1・2年	3・4年
基本	1. パソコンの起動と終了ができる。	2. ホームページで正しい文章を正確に打つことができる。(1分間より早く)
情報活用	3. 検索エンジンで必要な情報を検索し、保存したりドキュメントに読み込める。	4. 目的に応じて、文章や図、写真を取り入れてスライドを作成することができる。
問題解決・探究	5. 調べたことを書いたり、シンキングツールに書き込める。	6. 調べたことを書いたり、シンキングツールに書き込める。
プログラミング	7. プログラムの作成ができる。	8. プログラムの作成ができる。
情報モラル・セキュリティ	9. 個人情報の取り扱いがわかる。	10. 個人情報の取り扱いがわかる。
生成AIとの関わり	11. 生成AIの活用ができる。	12. 生成AIの活用ができる。

小中学校9年間で身に付けたい資質・能力を系統的に配置

基本的な操作

問題解決・探究における情報活用

プログラミング

情報モラル・情報セキュリティ

生成AIとの関わり

身に付けたい情報活用能力をより具体的に、そしてどの発達段階で身に付けるべきかを示した体系表を作成。朝日町独自の「生成AIとの関わり」を盛り込みながら、小中学校9年間で身に付けたい資質・能力を系統的に配置しています。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立朝日中学校

【取組内容】 情報活用能力育成の体系表と情報チェックシート&学習計画表

情報活用能力の育成

情報チェックシート（3・4年）

年	組	番	名前
---	---	---	----

きほんてきなそくさ	じよるほまかつよる	プログラミング	じよるほまもラル	せいせいAI
-----------	-----------	---------	----------	--------

1	ローマ字入力で短い文章が入力ができる（1分間20字以上）	
2	タブレット端末で写真や動画をとり、いないデータはきくじよるることができる。	
3	インターネットで調べたいことを、キーワードを入れて、調べることができる。	
4	文字や絵図、写真を入れたスライドを、タブレットで作ることができる。	
5	身の周りの生活の中でコンピュータやインターネットが使われていることを知っている。	
6	集めたじよるほまからひつよるものをえらぶことができる。	

資質・能力が身に付いたかどうかを確認

13	自分の考えや意見、他の人の考えたものを使うときには、その人の意見をきく。	
14	メッセージやメール、動画を送るときには、だれが見るが、その内容でよいかなどを考えている。	
15	他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくってぬき出して書くことを知っている。	
16	人をだまそうとするじよるほまや、きけんホームページを見つけたとき、クリックせず、すぐに大人に相談できる。	
17	メディアからのじよるほまには、自分以外の人の立場で見ることで、いろいろな見方ができることを知っている。	
18	だれかに送った自分のじよるほまは、のこったり広がったりするきけんせいがあることを知っている。	
19	生成AIの仕組みや使用上の注意点について知っている。	

朝日町小中学校 情報活用能力育成 学習計画（5・6年生）

情報活用能力: 基本的な操作 問題解決における情報活用 プログラミング 情報モラル・情報セキュリティ 生活AIとの関わり

学習計画表		学習計画表	学習計画表	学習計画表	5年生			6年生			
					1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
知識及び技能	1	ローマ字入力で長い文章を正確に打つことができる（1分間40字以上）						各教科 担任			
	2	インターネットで、検索する言葉を組み合わせて知りたいことを調べることができる。		各教科 担任							
	3	目的に応じて文章や図、写真を取り入れてスライドを作ることができる。			各教科 担任						
	10	課題を解決するために、アプリ（「スクラッチ」や「ビロケット」）を使って、簡単なプログラムを作ることができる。							算数・理科・総合的な学習の時間 担任・ICT支援員		
	14	他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって抜き出して書くことを理解している。		各教科 担任							
	16	メディアからの情報は、自分以外の人の立場で見ることで、いろいろな見方ができることを知っている。		総合的な学習の時間 担任・ICT支援員							
	17	情報の発信するときには、その情報が真実で、広がりたりする危険性があることを理解している。		総合的な学習の時間 担任・ICT支援員							
	19	生成AIから自分に必要な情報を引き出すことができる。			総合的な学習の時間 担任・ICT支援員						
	思考力・判断力・表現力等	4	知りたいことを複数の方法（インターネット、本、図鑑等）で調べ、情報を比較して選んでまとめることができる。						各教科 担任		
		5	文章や資料を読み取り、表やグラフに整理して選んでまとめることができる。						各教科 担任		
6		課題に対して、情報の量や質の仕方、まとめる方法、問題解決の方法を考えることができる。						各教科 担任			
7		自分の考えや相手と比べるよるに、理由や根拠となる資料を使って書くことができる。									
8		調べた情報を他の情報と比較したり、意見を聞いたりすることを通して自分の考えを整理することができる。						各教科 担任			
13		自分の考えや意見、他の人の考えたものを使うときには、その人の意見をきく。									
9		メッセージやメール、動画を送るときには、だれが見るが、その内容でよいかなどを考えている。									
11		他の人の言葉や文章を引用する部分を「」でくくって抜き出して書くことを知っている。									
12		人をだまそうとするじよるほまや、きけんホームページを見つけたとき、クリックせず、すぐに大人に相談できる。									
15		メディアからのじよるほまには、自分以外の人の立場で見ることで、いろいろな見方ができることを知っている。									
16	だれかに送った自分のじよるほまは、のこったり広がったりするきけんせいがあることを知っている。										
18	生成AIの仕組みや使用上の注意点について知っている。										

どの学年で、どの教科等で何を身に付けたいかの学習計画

どの学年で、どの教科等で何を身に付けたいかの学習計画

小中学校全ての段階で「情報チェックシート」と「情報活用能力 学習計画表」を作成。

情報チェックシートについては、体系表に位置付けた資質・能力が確実に身に付いたかどうかを教職員や子供自身が確認できるようにしています。

学習計画表については教職員が、どの学年、どの教科で何を身に付けさせたいかを示しました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

朝日町立朝日中学校

【取組内容】ICTを活用した校務の効率化

校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

校務におけるペーパーレス化

クラウドサービスの承認機能を活用し、一部の文書を起案しています。データ文書を直接加除修正することができるため、業務量の減少につながっています。

職員会議においては、クラウドを活用し、ペーパーレス化を図っています。資料を印刷したり職員全員に配布したりする作業を省略することができるとともに、資料をデータで残すことで管理面においてもメリットがあります。職員連絡をクラウドで行い、職員全員で情報の共有と共通実践することにつながっています。

クラウド活用によるデータ共有・共同編集

クラウド上で資料を作成します。複数名で同時に共有したり編集したりすることが可能になります。これまでU S B等でやりとりしていたファイルをクラウドで管理することになり、メディア等の紛失による情報漏洩のリスクをなくすることができます。また、学校間における資料の作成にも活用することができます。作業が大幅に削減され、これまで保存時に生じていたミスがなくなります。研修会においても、クラウドを活用しています。事前研修の際に、クラウド上で指導案を検討したり、授業の感想を伝え合ったりして研修を深めることができます。

